

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公開番号】特開2009-267700(P2009-267700A)

【公開日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2008-113949(P2008-113949)

【国際特許分類】

H 04 M 3/42 (2006.01)

G 06 Q 50/00 (2006.01)

G 06 Q 10/00 (2006.01)

【F I】

H 04 M 3/42 Q

G 06 F 17/60 1 2 0

G 06 F 17/60 5 0 6

G 06 F 17/60 1 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月16日(2011.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

登録された順番待ちの電話機を呼出す電話機呼出装置であって、

呼出IDと対応付けて順番待の電話番号を登録する順番待電話番号登録手段と、前記順番待電話番号登録手段から次に呼出すべき電話番号を読み出す電話番号読出手段と、前記電話番号読出手段が読み出した電話番号で発信して当該順番待ちの電話機を呼出す発信手段と、呼出し完了した呼出IDまたは指定された呼出IDに対応する電話番号を前記順番待電話番号登録手段から消去する電話番号消去手段と、前記電話番号読出手段が読み出した電話番号の呼出モードがメール呼出であった場合に当該電話番号をアドレスの一部とする電子メールの送信先アドレスを自動的に生成し前記生成した送信先アドレスへ電子メールを自動的に送信するメール送信手段と、を有し、

登録されている呼出IDを消去する毎、または前記呼出IDの呼出し動作を終了または中断する毎に、前記電話番号読出手段は、次に呼出すべき電話番号を前記順番待電話番号登録手段から読み出し、前記発信手段は前記読み出した電話番号で自動的に発信する、または当該電話番号をアドレスの一部とする電子メールを自動的に送信することを特徴とする順番待ち電話機呼出装置。

【請求項2】

請求項1または2に記載の電話機呼出装置において、

前記呼出した順番待ちの電話機から着信または電子メールを受信した場合に、前記呼出した呼出IDと対応付けられた電話番号を消去することを特徴とする順番待ち電話機呼出装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0006】

上記課題を解決するために、本発明は、登録された順番待ちの電話機を呼出す電話機呼出装置であって、呼出IDと対応付けて順番待の電話番号を登録する順番待電話番号登録手段と、前記順番待電話番号登録手段から次に呼出すべき電話番号を読み出す電話番号読出手段と、前記電話番号読出手段が読み出した電話番号で発信して当該順番待ちの電話機を呼出す発信手段と、呼出し完了した呼出IDまたは指定された呼出IDに対応する電話番号を前記順番待電話番号登録手段から消去する電話番号消去手段と、前記電話番号読出手段が読み出した電話番号の呼出モードがメール呼出であった場合に当該電話番号をアドレスの一部とする電子メールの送信先アドレスを自動的に生成し前記生成した送信先アドレスへ電子メールを自動的に送信するメール送信手段と、を有し、登録されている呼出IDを消去する毎、または前記呼出IDの呼出し動作を終了または中断する毎に、前記電話番号読出手段は、次に呼出すべき電話番号を前記順番待電話番号登録手段から読み出し、前記発信手段は前記読み出した電話番号で自動的に発信する、または当該電話番号をアドレスの一部とする電子メールを自動的に送信することを特徴とする。